



# Asaka

2014~2015年度  
国際ロータリーテーマ

## WEEKLY REPORT

No. 16 Date. H26.10.28(火)



国際ロータリー第2530地区

### 郡山安積ロータリークラブ

- 会長 / 大川原利信
- 幹事 / 横田 三郎
- クラブ広報・会報委員長 / 村上 秀元

#### 第16回 (通算1342回) 例会

- 開会点鐘
- ロータリーソング「我らの生業」斉唱
- 四つのテスト唱和

#### 会長あいさつ



大川原 利信 会長

先々週の職場訪問では根本克則さんにご案内いただきましてありがとうございました。桃園RCに行く7名の方は西那須野RCの例会場に3時30分までにご集合ください。ロータリーのゴルフコンペに参加し、打ち上げにも行きましたかなり体力が低下していますが今日も頑張りますのでよろしくお願いします。

#### 幹事報告

横田 三郎 幹事

#### 例会変更

- ◎10/28(火)郡山コスモスRC→6:30PM～ 夜の例会
- ◎10/29(水)郡山西北RC→6:30PM～  
クラブフォーラム 森倶楽部
- ◎10/30(木)郡山RC→6:00PM～  
再発会記念日例会 ビューホテルアネックス
- ◎11/4(火)郡山コスモスRC→11/1(土)9:15AM～  
猪苗代湖天神浜水草回収作業

#### 会員卓話

増淵 幸三 さん



溝井 宇一 委員長

今月はロータリー米山月間です。米山奨学会については9月のガバナー公式訪問の時に、中国・韓国からの奨学生が多いこと、奨学生の行動に対する疑問などの話も出されました。全国のロータリアンも異論を持つ方も多

いようで、米山豆辞典が配布されており、27ページの「よくある質問」にも書かれています。ロータリー米山記念奨学事業の使命は、将来、日本と世界とを結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリーの良き理解者となる人材を育てることで、世界にはない日本だけの事業です。今日はこの豆辞典に沿って進めてみたいと思います。

9ページには寄付について書いてあります。皆様からの浄財として寄付の協力をお願いしておりますが、米山奨学会の寄付には普通寄付と特別寄付の2つがあります。普通寄付というのは皆さんに協力いただくということで、当クラブでは年度予算の中で普通寄付として人頭割分を納めていただいております。特別寄付は例会場で毎週皆さんに募っております。協力された方は寄付額の累計により米山功労者として表彰されます。米山記念奨学会の財政が8ページにあります。危惧されているのは皆様からの浄財が少なくなっていることです。米山記念奨学会の運営は基本的には50億円の基本財産を取り崩さずに、資産の運用益により賄われています。普通寄付と特別寄付が集められ、その金額で米山奨学生を育てております。17ページから奨学生のデータが書いてあります。韓国・中国・台湾の奨学生が多すぎると言われるのは、留学生の絶対数が多いことから、米山奨学生の選出も多くなっていくわけです。22ページに地区別の割り当て数がありますが、2530地区は下の方の順位となっており、2013年は14名の米山奨学生でしたが、2014年には12名に減らされました。このことから、皆様の協力をお願いしたいということです。

米山記念奨学会には世話クラブとカウンセラーという制度があります。奨学生が選考されると、地区は各クラブに担当をお願いします。当クラブではこれまでに中国の2人、韓国、スリランカの4名の奨学生を世話クラブとして受け入れました。カウンセラーは奨学生の面倒を1年間見るわけですが、毎月の奨学金を手渡したり、卓話に招いたり、地区行事への参加の呼びかけなどをします。当クラブが世話したスリランカのチンタカクマラー・ウィジェシンヘ君は現在も郡山に在住しており、学友会のリーダーとして率先して米山記念奨学会や学友会に熱心に取り組んでいます。先日の学友会の発表会に私と大川原会長と横田幹事が参加しましたが、中国やモン

ゴルの学生達が発表し、奨学生の選考が的確に行われていることを感じました。モンゴルの学生は日大の応援団長をしているようで、応援ぶりを披露しました。24・25ページには奨学金について書いてあります。短大・高専も対象としておりますがほとんどが大学生で、博士課程はやや多めの金額です。奨学生の募集・選考方法は地区により若干違うようです。

豆辞典には学友会についても書いてあります。今回の大震災に対して、学友会から多額の義援金が送られて来ました。米山奨学会でお世話になったことに対して感謝しているということです。チンタカ君が学友と現在の奨学生数名を呼んで震災の時の体験談を話させた時にも、学友会でいろいろな支援をしたということが発表されました。チンタカ君はこの時にも身を粉にして活躍されました。ご存知のようにチンタカ君は大事な一人息子を亡くされ、去年は米山の活動に参加することはできませんでした。奥さんも体調を崩しているようですが頑張っております。チンタカ君の活動・行動に敬意を表して私までできるだけ応援をしたいと思っております。チンタカ君は2年前に学友会の会長となりました。前任者は米山奨学生のOBの名簿を作っておられませんでしたので、連絡を取ることができなかったそうです。チンタカ君が地区の学友を調べたことによって40名ほどに連絡を取ることができたそうです。これまでは米山奨学生との連絡がつかず、どこにいるのか所在さえ分かりませんでしたので、卓話などで例えに呼ぶこともできませんでした。離れてしまうとつながりを持つことができませんし、お互いに理解することもできません。チンタカ君が会長となったことにより、学友会との交流が活発になってくることが期待されます。先日の学友会の終りに、チンタカ君が来年スリランカに学友会を作ると言っていました。米山奨学生のOB達に米山記念奨学会を見直してもらうために、大変ですが協力者もいるので必ず作るので、この発会式には当クラブからもぜひ参加していただきたいとのことでした。彼にとって米山記念奨学会は大変に価値のある奨学会であることを再度アピールしたいという意向であったものと思います。

27ページからの「よくあるご質問」に、なるほどと思われる質問が書いてあります。毎年約700人が奨学生として採用されておりますが、日本のロータリーとの交流によって、将来、

日本と世界とを結ぶ架け橋になる人材を育てるための奨学金制度ということです。近年、上海・韓国にも学友会が誕生しました。台湾の学友会は日本の学友会との連携も行ってあります。特に台湾の学友会は震災その他の災害支援に対して即座に協力してくれています。米山奨学生は国に戻って活躍している人材がたくさんいることを認識し、米山記念奨学会へのご協力を今後ともよろしくお願ひしたいと思ひます。

ネパールの山奥で単身、支援をしている垣見一雅さんから10月に支援の御礼の手紙が届きました。彼はいろいろな組織から支援をもらっており、当クラブからも少額ですが支援をしております。それにより子供達に勉強のための奨学金を渡すことができたという報告が書いてありました。

## ■ 出席報告

遠藤 道行 委員長

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回修正率	前々回修正率
33名	23名	10名	65.52%	79.31%	79.31%

## ■ 他クラブ出席者

10/9(木)会津版下RC 高縁 勝一さん

## ■ ロータリー財団委員会報告 高橋 亮 国際奉仕委員長

◎古山 英夫さん(ゴルフコンペで遠藤さんの優勝おめでとうございます。)

◎森合 三郎さん(挽野さんの卓話楽しみに。)

大川原利信さん・小野塚昇一さん・慶徳 孝一さん  
挽野 喜孝さん・根本 良一さん・高橋 亮さん  
増淵 幸三さん・村上 秀元さん・横田 三郎さん  
伊野 勝彦さん

## ■ 米山記念奨学会委員会報告 根本 克則 米山奨学会副委員長

◎高縁 勝一さん(挽野さんのお話楽しみです。)

石塚 征夫さん・慶徳 孝一さん・横田 三郎さん  
根本 克則さん

## ■ スマイルBOX委員会報告 高橋 亮 出席スマイルBOX委員長

◎土屋 久美子さん(先週は歓迎会ありがとうございました。)

◎小橋 達夫さん(挽野さんの卓話を楽しみにしています。)

矢吹 智喜さん・村上 秀元さん・挽野 喜孝さん  
根本 克則さん・三瓶 徳道さん・川島 忠さん  
大川原利信さん・庭 正寿さん・伊藤 重幸さん

閉会点鐘



BONANZA GROUP

株式会社 ボナンザ  
株式会社 ボナンザビル

代表取締役社長 伊野 勝彦

郡山市安積町荒井字南大部26-3 TEL 024-945-6669



県南計器株式会社

代表取締役 遠藤 道行

〒963-0112 郡山市安積町成田字鳥の後33-5

TEL.024-945-1385